

令和5年度事業実績書

団体名	嘉川自治連合会
-----	---------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

嘉川の魅力を活かした 元気で楽しく 住みたいまちづくり

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	元気あっぷチャレンジの参加増加と活動内容の充実に努める。		
	事業名	楽しい健康ライフ	決算額	233,446 円
②	視点	本郷地区の「里山自然公園」の整備に力を入れていく。		
	事業名	美しい環境づくり	決算額	1,149,240 円
③	視点	地域住民が交流できる場の提供とともに、HPブログでの話題提供を図る。		
	事業名	ふれあい交流 嘉川の情報発信	決算額	422,686 円 629,984 円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

	検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①	市保健センターと連携して「嘉川元気あっぷチャレンジ」を年5回実施し、そのうち2回は「山」へ出向くことで自然の中でリフレッシュ効果の高い企画を実施できた。来年度以降は「海」を感じられる企画を充実していく。	○
②	里山自然公園整備に関し、古民家を利用した活動拠点施設の整備について様々な検討を重ねた。来年度以降は将来的なビジョンを明確にして、本郷里山づくり活動について住民理解が得られるようにしていく。	△
③	コロナが落ち着いてきたので嘉川子どもみこしをはじめ、地域住民の交流の場となる様々なイベントを開催することができた。また、HPやブログで住民に身近な情報を毎月届けるとともに、写真コンテストの入賞作品を載せた嘉川 CALENDAR を新たに作成したことで、嘉川のいいところを多くの住民の皆さんと共有できた。	◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全くできなかった)

4 総括

第3期嘉川地域づくり計画の4年目の今年は、嘉川子どもみこしが4年ぶりに復活するなど、コロナで低迷していた各部会の事業活動が活発化した1年だった。

また、令和4年に策定した嘉川みらい計画に基づき、重点的に取り組んでいる「本郷里山づくりプロジェクト」について、移動市長室での市長や関係部局との意見交換を契機として、協働のまちづくりの理念の下で、地域と行政が共に話し、共に汗をかく土壌が醸成されてきたと考えられる。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	4,798,209円
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務局員:2名 (運営費の主な内容) 事務局人件費及び事務費 (成果・評価) 年間を通じて各部会の活動及び予算の進行管理を行う方式を今年度から新たに導入した。そのことで各理事が常に各部会事業の現状を共有することが可能になった。 (今後に向けて) 理事会で現状を踏まえた活発な議論を展開していく。

(2) 地域振興

事業名	ふれあい交流	まちづくり部会
事業費	422,686円	
事業概要	(実施内容) 4年ぶりに子どもみこしを再開するとともに、各種ウォーク等住民がふれあいながら交流するイベントに加えて、謎解きアドベンチャー2023や写真コンテストを支援した。 各種ウォークについて、今年度は自治連主催のコスモスウォークと青少協が主催する三世代交流ふれあいウォーキングが再編され「嘉川ふれあいウォーキング」として実施された。 令和5年11月から地域の小中学校で毎月11日に「いいあいさつの日」が制定されたことに伴い、あいさつ運動に関連して学校側と連携して幟旗を制作した。 (実施時期・参加人数) 嘉川子どもみこし 9/10 (児童・生徒 101人) 嘉川ふれあいわくわくウォーキング 11/19 (約100人) 元気会ふるさと探訪ウォーク 5/23、10/3 (人) 謎解きアドベンチャー2023 in かがわ 11/1~12/10 (人) 嘉川のいいところ見つけちゃろ写真コンテスト 5/15~10/13 (17人) (成果) 子どもみこしが4年ぶりだったので実施マニュアルを整備した。 写真コンテストの入賞作品を載せた嘉川 CALENDAR を作成した。 (評価) コロナが落ち着いてきたので各種イベントを予定どおり実施できた。 (今後に向けて) コロナ禍で中止が相次いだイベントが再開されてきたところであり、今後も継続して実施し、地域住民が交流できる場を提供していく。	

事業名	嘉川の情報発信	まちづくり部会 広報委員会
事業費	629,984円	
事業概要	(実施内容) かがわ自治連だより(広報紙)やホームページ(ブログを含む)により地域の様々な出来事を発信した。また、昨年度制作した「住みたいね嘉川」DVDの貸出を行うとともに、今年度は写真コンテストの入賞作品を載せた嘉川CALENDARを作成し、自治会や事業所等へ配布した。 (実施時期) 広報紙発行 9月・3月、HP更新 毎月 (参加人数) 広報紙 全戸へ配布、HP ネット配信 (成果) 広報紙の形式を若者に馴染みのある横書きに変更するとともに、HPの中でブログの運用を再開した。 (評価) ホームページのブログの充実により話題提供が図れた。 (今後に向けて) 引き続きブログの充実に努めていく。	

(3) 地域福祉

事業名	すこやか子ども未来	ひとづくり部会
事業費	245,297円	
事業概要	(実施内容) 地域みんなで子育てができるよう、子育て支援団体の活動を支援した。具体的には、青少協が行う小学生ふるさと学習をはじめ、子育て支援連絡組織“みらい”等へ補助金を交付した。 (実施時期) 通年、小学校長期休み期間中(夏休み等) (参加人数) ふるさと学習80人、しゅっぱぽっば等来館者多数 (成果) 小学生ふるさと学習の実施に関し、全ての講座で嘉川地区住民の人が先生役を務めた。 (評価) 地域の生涯学習力が高まってきている。 (今後に向けて) 人材バンク登録制度に繋いでいきたい。	

事業名	みんなで健康長寿	ひとづくり部会
事業費	180,000円	
事業概要	(実施内容) 高齢者が生きがいをもち、地域と繋がって暮らせるよう各種支援した。具体的には、各地で開催されるサロン活動をはじめ、老人クラブほかへ補助金を交付した。 (実施時期) 7月～11月 (参加人数) (成果) 様々な団体に高齢者が活動する企画を実施してもらえた。 (評価) 実施団体が固定化している傾向が強い。 (今後に向けて) 他の事業との繋がりを工夫し事業効果を高めていく。	

事業名	楽しい健康ライフ	ひとづくり部会
事業費	233,446 円	
事業概要	(実施内容) 健康の増進を図り、スポーツによる交流により、元気な健康ライフを支援した。具体的には、元気あっぷチャレンジの開催と併せて、スポーツ用品の貸出やラジオ体操等で健康づくりを行う団体へ補助金を交付した。 (実施時期) 令和5年7月～令和6年3月 (参加人数) 元気あっぷチャレンジ 30人×5回=150人 (成果) 元気あっぷチャレンジの参加者が増加した。 (評価) 元気あっぷチャレンジの企画を季節感が感じられるものにできた。 (今後に向けて) 元気あっぷチャレンジについて、自然と触れ合い特に「海」を感じられる企画を充実させていく。	

事業名	がんばる人づくり	ひとづくり部会
事業費	140,355 円	
事業概要	(実施内容) 地域のために活躍するボランティア組織や地域組織の活動を支援した。具体的には、地域貢献に資する活動を実施する団体を掘り起こす「がんばる組織の応援事業」を創設し、各種ボランティア団体へ補助金を交付した。 (実施時期) 令和5年7月～令和6年2月 (参加人数) (成果) がんばるボランティアとして2団体、がんばる組織の応援として6団体に補助金を交付した。 (評価) 今年度から新たに始めた「がんばる組織の応援事業」には、多くの団体からの応募がありニーズの高さが窺われる。 (今後に向けて) 募集方法や審査方法に工夫を加え、補助金交付効果を高めていく。	

(4) 安心・安全

事業名	みんなで安心防災	自主防災本部
事業費	320,322 円	
事業概要	(実施内容) 自主防災本部が学校と連携して生徒・児童を対象とした防災学習会を開催した。また、本部員及び災害ボランティアを対象とした避難所運営に関する防災講座を実施した。 (実施時期) 10/5 興進小学校、10/20・23 嘉川小学校、11/28 川西中学校ほか (参加人数) 140 人 (成果) 今年度は小学生防災学習の会場をこれまでの学校(体育館等)から地域交流センターへ移すなど新しい試みを取り入れた。 (評価) 実際に避難所となる会場だったことから、子どもたちにとってリアルな学習になった。 (今後に向けて) 防災を身近なものと捉え、自ら行動できるよう、具体的な体験や研修を行う。	

(5) 環境づくり

事業名	美しい環境づくり	環境づくり部会
事業費	1,149,240 円	
事業概要	(実施内容) 本郷地区の里山づくりをはじめ、まちじゅう花いっぱい活動や清掃活動を行った。 (実施時期) 通年 (参加人数) (成果) ・里山づくりについて、平原岳の登山道本郷出葉ルートを開通させた。本郷里山自然公園の活動拠点施設の整備に関して、古民家を補修する方針が定まった。 ・まちじゅう花いっぱい活動では、山口市花いっぱい運動花壇コンクールにおいて、嘉川地区から推薦した高見子ども会が最高位のモデル賞を受賞した。 ・清掃活動については、嘉川清掃の日に毎年ゴミ拾い大作戦を行う3地点のうち2地点でゴミの量が減少してきた。 (評価) ・本郷里山自然公園について、公園整備に欠かせない維持管理活動や遊休地活用へ取り組みました。また、活動拠点施設の整備に関して物件持主の同意を得られるなど、少しずつではあるが構想が前進している。 ・まちじゅう花いっぱい活動については、子どもの数の減少に伴い子ども会を解散する自治会もあり、やり方の工夫が必要である。 ・清掃活動に関しては、従来からの懸案である今坂駐車場のゴミ問題が一向に解決しない。 (今後に向けて) ・古民家の活用に向けて必要な補修を実施し、里山づくりを推進する。 ・嘉川地区花いっぱい運動花壇コンクールについて、子ども会だけではなく新たに自治会のコンクールも企画する。	

事業名	優しい交通ネット	安全づくり部会
事業費	4,000円	
事業概要	(実施内容) 便利なコミュニティー交通について、嘉川コミタク推進協議会の事務局業務を受託し高齢者の足となっているコミタクの運行を支援した。 交通弱者・高齢ドライバーの支援については、特に実施していない。 交通安全施設整備について、今年度は各自治会からカーブミラー設置費補助の要望はなかった。 (実施時期) コミタク協議会事務局業務受託 通年 (参加人数) 1 団体 (成果) コミタク協議会の事務が滞りなく実施された。 (評価) 便利なコミュニティー交通について、本来ならコミタク協議会が直接事務を執ることが望ましい。 高齢ドライバーの支援については、既にひとづくり部会の高齢者「交通防犯講習」の支援に移行済みの活動である。 交通安全施設整備については、公共インフラ整備と同様に交流センターを通じて処理する業務となっている。 (今後に向けて) 次期(第4期)地域づくり計画では当該事業の内容を検討する。	

事業名	公共インフラ整備	安全づくり部会 建設委員会
事業費	4,456,000円	(地域づくり交付金 土木工事事業分)
事業概要	(実施内容) 法定外公共物等整備事業について、自治会から要望のあった箇所のうち、6件に補助金を交付した。また、豪雨により被災した河川の改修について県・市へ要望書を提出した。 (実施時期) 通年、8/28 県要望、8/31 市要望 (参加人数) 補助金交付先 6件、5自治会 (成果) 自治会内の法定外公共物について整備が進んだ。 (評価) 法定外公共物整備事業について要望箇所が多く事業費が足りない。 (今後に向けて) 優先度が高いものを見極めながら進めていく。	

(6) 地域個性創造

事業名	歴史文化の伝承	まちづくり部会
事業費	66,230 円	
事業概要	(実施内容) 嘉川地区体育祭及び嘉川文化祭で嘉川総踊りを実施した。 嘉川の遺跡・史跡の現地へ設置してある標柱について、老朽化していたものを撤去した。 (実施時期) 11/3 ほか (参加人数) 約90人 (成果) 体育祭及び文化祭の総踊りを実施した。 (評価) 文化祭野外ステージの流れの中で、総踊りは人が引いてしまう感じがあり、前後のステージともズレを感じられた。 (今後に向けて) 体育祭の中で総踊りを引き継いでいく。	

事業名	嘉川らしいまちづくり	まちづくり部会
事業費	342,290 円	
事業概要	(実施内容) 嘉川の酒「嘉穂の郷」に使う酒米の田植え体験(稲刈り体験は雨天中止)に加えて、昨年に引き続き祈願酒企画を実施し特産品のPRに努めた。 地域の人々の交わりをつくるKagawaMarketを開催するとともに、小中学生の食育学習を実施した。 (実施時期) 田植え 6/11、KagawaMarket 奇数月第三土曜日、食育学習 適宜 (参加人数) 田植え 170人以上、KagawaMarket 50人程度/回、食育 425人 (成果) コロナが収束してきたので概ね予定どおり開催できた。 (評価) 田植え体験は小さな子どもたちも親子で参加してもらえた。 (今後に向けて) 今後も無理をしないで継続して実施して行く。	